

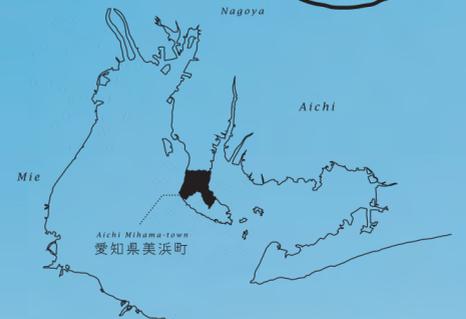
# みはまデイズ

## mihama days

VOL. 08

海まで5分。美しい浜と里山のある生活。

TAKE FREE  
2021.Mar



ちよつとここらで、深呼吸。



INTERVIEW  
**Seagull Yacht Club**  
嶋田 夕貴さん  
海辺のワーケーション特集

国際交流員 (CIR)

### シェンさんの のんびり美浜日記



リム・イーシェンさん  
シンガポール共和国生まれ。母語は英語と中国語。趣味は「新しいことを学ぶ・体験すること」。

2020年12月に来日した国際交流員、リム・イーシェンです。来町してから4ヶ月も経ち、冬の始まりから終わりまでを初めて体験しました。赤道の近くにあるシンガポールで生まれ育った私にとっては、寒いところで何カ月も過ごすのは人生で初めてです。外を歩いていると、風が強くて冷たいので、前に進めずその場で凍ってしまうのではないかと思いました。そんな寒い美浜町の冬でも、温かい経験をすることができました。

★寒さに耐えるには、エネルギーが必要です。「冬に食欲が増す」というのがありますよね。来町してから、いつもよりたくさん食べている気がします。毎日食べ続けている中で、一つ感じたことが、美浜の人たちの気前の良さです。何軒かお店に行ったり、役場で町内のお店からお弁当を注文したりしましたが、いつも値段以上の質と量に驚きます。寛大な量のわりに、品数、見た目、味付け、どれもよく出来ていて、町内の職人さんの良さがはつきりとわかります。寒い日にそんな食事で体が温まりました。

★国際交流員として働いている中で、日本の学校を拝見することができました。小学校を訪問に行ったとき、日本語を一切使わず、英語のみで会話するようにしていました。最初はのせいで誰も声をかけてくれないのではないかなと思っていましたが、子供たちは勇気を出して、今まで勉強してきた英語単語で会話してくれました。10歳くらいの子たちが、私の言葉を理解してくれて、コミュニケーションをとることができました。一所懸命頑張っている子供たちを見て、冬の中でも心が温かく感じました。



## みはまBooks

特集「with コロナの時代に美浜町を楽しむためのライフスタイル本」

美浜暮らしをもっと楽しむための本をリレー形式でおすすめします。ご紹介する本は全て美浜町図書館で借られます！



わたしのオススメ  
健康・子育て課 野村

### 『最高の入浴法』

早坂信哉 著  
大和書房 出版

美浜町には素敵な温泉がありますが、行きたくても行っていない方もいらっしゃるのでは？でも大丈夫！この本を読めば、お家のお風呂の入り方をちょっと変えるだけで、血流アップ＆自律神経が整う入浴方法がわかります。そのほか疲労回復、不調別の入浴法など紹介されているので、コロナに負けない身体づくりができるかも…！



わたしのオススメ  
環境課 浜田

### 『週末2時間でできる1週間くりまわしクッキング』

食のスタジオ 著 / 家の光協会 出版

コロナ禍の中、外出を極力避けたい、毎日献立を考えるのにも限界があると思いつ、この本を選びました。この本は一週間分の一汁二菜の献立の仕組みを週末の2時間で仕込んで、日替わりで作っていくという料理本です。何か新しい料理にチャレンジしたい方や、面倒くさがりの方など幅広くおすすめできる一冊です。

### 『自作キャンプアイテム教本』

長谷部雅一 著  
グラフィック社 出版



わたしのオススメ  
生涯学習課 梅原

皆さんはコロナ禍でどうお過ごしですか？最近ではキャンプやグランピングがとても人気ですが、もし自分でキャンプ用品を作りたいなと思いませんか？私はこの本を知ったとき「これだ！」と感じ、是非紹介したいと思いました。この本ではベンチテーブルや木のスプーンなど35アイテムのキャンプ用品の作り方を紹介しています。自作のアイテムでキャンプの楽しさ倍増のはず！

### 『世界を彩る色と文化～めくって旅する新しいデザインの本～』

桜井輝子 著  
SBクリエイティブ 出版



わたしのオススメ  
住民課 小島

この本は、海外に自由に行けない今だからこそそびえ立つ「旅行気分や開放感が味わえる」本です。2,912個もの配色見本から感動だけでなく、ミニコラムから教養を得ることができます。また、世界の有名な地を巡るだけでなく、「お菓子の旅」「香りの旅」などユニークな旅もあり、さらには、デザイン、イラスト、インテリアなどの参考にもなるので、家の中で充実して過ごすことができる本です。



わたしのオススメ  
企画課 酒井

### 『自然の暮らしがわかる本』

新田穂高、城ノ内まつ子 著  
山と溪谷社 出版

この本には、移住して自然に囲まれた生活をしている著者の体験がたっぷりつづられています。美浜町の暮らしは便利な方だと思いつ、何でも手に入ってしまうのですが、自分でハーブティーを作ったり、自然の力を感じたり、環境問題について考えてみたり…自給自足の生活がしてみたい人、新しい暮らしへの憧れや妄想を膨らませたい人にとって、楽しい本です。

### あなたの美浜暮らしを応援します

美浜町には今、空き家や休耕田などの“余白”がたくさんあります。あなたが住むことで、この地域をもっと魅力的にできるかもしれません。毎日を丁寧に過ごし、豊かな暮らしを実現してみませんか。美浜町への移住や二拠点生活、Uターン、滞在をお考えの方にご利用いただける様々な制度やコミュニティの紹介も行っています。

#### まずは企画課へ！

美浜町企画課  
\*ワーケーションに関すること  
\*移住相談窓口  
電話：0569-82-1111  
(内線 227・232)

#### 美浜に住みたい方

美浜町都市整備課  
\*住宅に関すること  
(内線 246)

#### 美浜で働きたい方

美浜町産業課  
\*仕事・農地に関すること  
(内線 264)

### みはまデイズ vol.8 編集後記

思いがけない新型コロナウイルスの影響により、今まで当たり前だったことが当たり前ではなくなりつつあります。2020年は、働き方や暮らし方、遊び方で大きく変化した年となりました。密を避け、広々とした美浜の浜辺で過ごしていると、身近にこういう場所があってよかったと思えます。見慣れた風景ですが、新たな見方ができるように、気持ちにも変化がありました。皆様にとっても、みはまデイズが新たな美浜町の魅力を知る機会になれば嬉しいです。



(S.R)



mihamadays.com



掲載情報については、2021年3月時点のものです。本冊子の記事及び写真などの無断転写・転載を禁じます。  
2021年 第8号「みはまデイズ」発行：愛知県美浜町

# 旅するように、 暮らしてみよう。

少し前までは想像していなかった、新しい暮らしが始まりました。  
広い海の上や里山の風景、ゆったりした宿と浜辺での時間…。  
生活様式は変わっても、知多半島の自然は変わりません。  
with MIHAMA で、せめて穏やかな1日を。

## ACTIVITY SPOT



愛知県美浜自然の家

※2021年4月～名称変更  
〒470-3236 愛知県知多郡美浜町大字小野浦字宮後1-1  
TEL : 0569-88-5577 HP : sizennoie-mihama.jp

三河湾国定公園の西側、伊勢湾を眼下に見下ろす天然林に囲まれた小高い丘の上にあります。宿泊棟、体育館、芝生広場、屋外炊事場、ハイキングコースなど、設備も充実し、海浜型社会教育施設として団体研修の受け入れ、自主事業として様々な体験学習プログラムを実施しています。



町民の森

〒470-2404 愛知県知多郡美浜町大字河和字菅苅  
施設予約先：美浜町 産業課 農政係  
TEL : 0569-82-1111 (内線 265)

林野庁、愛知県の補助を受け、森林に親しむ場、里山保全活動の拠点として「町民の森」が整備されました。体験広場ではキャンプや、自然学習などイベント利用が可能です。町民の森で一番高いところにある通称黒山の頂上の展望台からは、三河湾・伊勢湾を望むことができます。



ウッドデザインパーク野間

〒470-3236 愛知県知多郡美浜町大字小野浦字ニッ細間21-1  
CAFE 11:00 - 18:00 / BBQ 11:00 - 21:30  
毎週火曜日定休 HP : wood-designpark.jp/noma/

名古屋から車で50分！伊勢湾に面し、ダイナミックなオーシャンビューや、絶景の夕日を背景に、BBQや手ぶらでデイキャンプができる施設です。カフェスペース付きの屋内BBQエリアもあり、植物の展示販売もしています。

## ヨットで伝えたい 海風を感じる時間

### ヨット遊びは難しい？

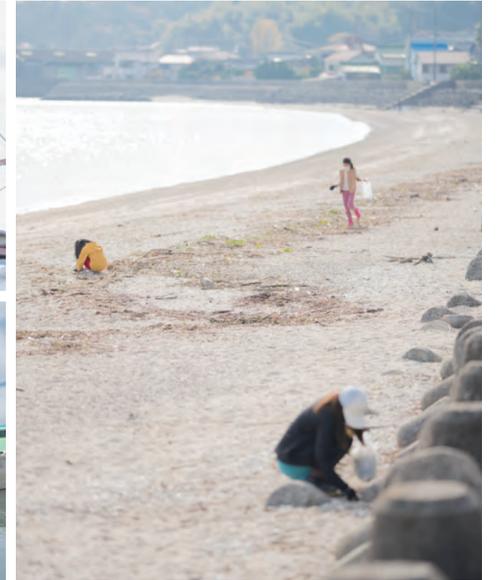
クルーザーやヨットなどのマリネジャーを楽しむ人の数は、バブル期をピークに減少を続けています。ヨットも、ファンが年を取ってヨットをやめただけユーザーが純減するという状況です。ヨットやクルーザーに乗っていると聞くと、ゴージャスでお金のかかる娯楽のような気がして、なんだか少し縁遠い気がします。知多半島でも、以前はヨットなどのマリネジャーは今よりずっと盛んでした。美浜町にも、河和港高速船乗り場の横に40年ほど前に当時の若者たちによって作られ、一度は廃墟目前となってしまいかけたヨットクラブ「シーガル」があります。このヨットクラブをDIYでリニュー

アルし、再興しようと奮闘する颯田夕貴さんにお話を伺いました。

### “DIYでリノベーション” は、産廃ゴミとの格闘

2018年、颯田さんは、知人を通じて紹介されたシーガルのハーバースター伊藤修也さんのヨットに乗せてもらいます。当時、広告営業の仕事に対して物足りない思いを抱いていた颯田さんは、「風さえあればどこへでもいける」というヨットの世界に感動します。その後、オーナーの高齢化や施設の老朽化に悩んでいた伊藤さんからの「ヨットクラブ立て直しに協力してもらえないか？」という誘いを受け、「Seagull 再建プロジェクト」に参加することを決めました。初めはお手伝いのつもりが、それが面白くなってしまった颯田さん。まったく収入のあてもないまま、ついには会社を退社し、再建に取り組むようになります。2019年から、颯田さん

が活動の中心となり、夏を目指してのリニューアル工事に本格的に着手します。春から夏ごろまでかけて山積みだったゴミをひたすら分別・運搬する日々が続きます。それが終わると、コテージの傷んだ部分を解体する作業が続きました。「重機があれば1日で済む作業を炎天下で何日もかけて手作業でやっています。お金があれば…とあんなに思ったことはありません。」と颯田さんは笑います。ヨットクラブのもつロケーションの良さに加え、颯田さんの情熱と人柄が徐々に共感を呼び、修繕、増築する頃になるとさまざまな世代の人が協力してくれるようになり、本職の職人さんもボランティアで来てくれるようになりました。そのおかげで、予定通り、どうにか夏の間に完成することができました。リノベーション後は、実験的なバーベキューイベントやヨット体験などを試行したのち、いよいよ2020年からは本格的に稼働！…となったところで、新型コロナウイルスが発生します。



### “もっと、ラフに Sailing lifeを楽しもう”

2020年5月、コロナ禍の最中に、「シーガル・ヨット・クラブ」はリニューアルオープンしました。新生シーガルの活動について、颯田さんに改めてお話を伺いました。

颯田さん）シーガルでは、“もっと、ラフに Sailing life を楽しもう” というのを掲げていて、敷居が高かったヨットを身近なものにしていくために、船を持っていない人でも気軽に楽しめるようなイベントやディンギーという小型のヨットの講座をしています。クルーザーも操縦士付きで、1日チャーターしてもらって8万円。20人ぐらい集めてもらえれば、人数で割ると結構安く乗ることができます。海の上で酒を飲んだりもできますし、コロナの心配も少ないので、すごく気持ちいいですよ。



#### 颯田 夕貴さん

Seagull Yacht Club 管理人

愛知県知多郡美浜町大字河和字北屋敷276  
※敷地内への立ち入りは会員のみ

E-mail: seagull.yachtclub@gmail.com

HP: seagullyachtclub.wixsite.com/seagull

停泊してくれる船や会員も少しずつ増えてきています。あと、隣の砂浜は、もともとは海水浴で賑わっていたんですけど、最近あまり使われなくなっているみたいです。そこに衣浦港とか三河湾のゴミが漂着することもあるとあって、ビーチクリーンの活動なども進めています。寄港先でゴミを回収したりとか、そういう文化があって、海に関わっているとゴミやエネルギー資源の問題は無視できないので、今は「UMIGOMI-ART」と「油化プロジェクト」というプロジェクトを進めています。「UMIGOMI-ART」は浜辺で拾ったプラスチックゴミからアートを作る活動で、子どもたちにすごく人気があります。「油化プロジェクト」は、プラスチックゴミを油に戻す装置を使ってそこから発電する取り組みをしている、西尾市にある豊武工業所の竹口さんと協力して、プラごみを船の燃料にしようというプロジェクトです。プラスチック1kgから1リットルの油が採れるので、これ

でヨットを動かしたいなと思っています。海の上で日光と風を受けるヨットという遊びはストレス解消にもなるし、オープンエアでの海上移動なので、コロナ禍の今にとっても向いています。海で繋がっている場所であればどこでもアクセスできる自由度が魅力です。運が良ければスナメリウォッチングもできます。洋上では、知多市のOKDさんと作ったオリジナルのクラフトビールも飲めます。環境教育に絡めたセーリング企画や、シーガル内のBBQの場所貸しなどもしているので、ぜひまずはイベントなどから、参加してみてください。まだまだ試験的な運営なので、どんどん満足度をあげていきたいと思っています！中古のディンギーなども余っているので、新規オーナーや保管先としての利用もお待ちしています！





チェックイン



チェックアウト

リモート会議や仕事の後は釣りや焚き火も…。自分で決める過ごし方。

## 海辺の ワーケーション

場所：いろは旅館、紅葉屋、小野浦館



愛知県美浜町観光協会

〒470-3233  
愛知県知多郡美浜町大字奥田宇森越70-3 名鉄知多奥田駅高架下  
TEL: 0569-83-6660 HP: aichi-mihama.com

『みまデイズ』の7号を編集していた頃はまだ対岸の火事だった新型コロナウイルス感染症が急速に広がり、イベントへの参加や自由な移動が制限され、人に会うことが難しくなりました。これをすると感染リスクがあるかな…、これからどうしていったらいいのかな…と、いろいろと考える時間も多くなりました。

美浜町ではそれほど多くの患者が出ていませんが、その影響は大きく、どこにいても「新しい生活様式」が求められています。テレワークの推進や感染症リスクの低い地方での新たな働き方など、「ニューノーマル時代」のライフスタイルの提案が進んでいます。しかし、リモートワークやワーケーションが一気に進んでいるとはいえません。

そこで今回は、「感染症リスクの低い地方」である美

浜町らしく、コロナ疲れの今こそ楽しみたい、ホッと一息できる美浜町の新しい過ごし方として“ワーケーション”の可能性を探っていきます。

### 「ワーケーション」ってなんだろう？

昔から、風光明媚な場所で文豪が小説を書いたり、筆の遅い漫画家がホテルで缶詰になって原稿を書いたりすることはありました。現代は、紙とペンだけあれば仕事のできる物書きの人以外でも、パソコンとネットワーク環境があれば、そこが仕事場になる人が増えています。ホテル併設のワーキングスペースでスペシャルティコーヒーを片手に…。みたいな過ごし方は、美浜町ではちょっと難しいかも。でも、海を眺めながらのデスクワークや、サーフィンや釣りの潮目が良くなるまでの間に集中して仕事を仕上げたり、海辺を歩きながら

考えをまとめたり、お店の人から料理のコツを教わってリフレッシュすることはできるかも…。日常では浮かばないアイデアが浮んだり、集中できる環境があって、働く人のモチベーションが上がることが、今、仕事の上では重要になってきている気がします。

※ワーケーション（英語:Workation）とは、「ワーク」（労働）と「バケーション」（休暇）を組み合わせた造語（かばん語）で、観光地やリゾート地でテレワーク（リモートワーク）を活用し、働きながら休暇をとる過ごし方。

### 美浜の旅館・民宿で、 ほっこりワーケーション

海水浴や潮干狩り、避暑などで賑わった古くからの観光地である美浜町には、たくさんの宿泊施設があります。都市圏である名古屋市や製造業の本社機能が多く集まる三河地区からもほど近く、新型コロナのストレスを忘れて静かな環境で落ち着いて仕事ができます。もしかしら、

最適なエリアなのかもしれません。そこで今回、いくつかの旅館がモデル事業として、新たにネットワークを整備し直したり、ワーケーションプランに取り組みました。

### お昼休みにイタリアン料理教室、 魚のさばきかたを習う。

各旅館ごとの特徴や施設に合わせてワーキング向けのプランを検討し、さまざまな魚をさばく体験やお店を出しているイタリアン料理教室、ヨガや座禅を組んでの修行体験などが企画され、いろは旅館、紅葉屋、小野浦館の3つの宿に、計6組13人のモニターに参加いただきました。参加者も、広間を会議室として使ってリモートミーティングを行ったり、客室で企画書や事務作業を進めたりと、それぞれの業務や職種に合わせた使い方を試していました。

### 参加者の声

■税理士の男性：

「家では自分から魚をさばいてみよう、とは絶対ならなかったのですが、今回いい経験になった。」「研修費などの経費でもワーケーションに行きやすい文化になれば、もっと使ってもらえるのでは。」

■デザイン会社の男性：

「ヨットに乗るので、釣った魚をさばけるようになりたかった。体験できてよかった。」「職場が名古屋にあるんですが、知多半島には海が好きなので休みによく来ている。お試しのかたちでなく、また来たい。」

### 受け入れ先の声 (いろは旅館)

「海が荒れたので、さばくのが難しい魚が多かったです。自分さばくと、家で魚が出てきたときに骨の処理がされていることに感謝する気持ちが湧くので、やっておくといいです。魚はそれぞれの特徴やコツもあるけれど、基本的には同じ手順でさばくことができるので、一度慣れてしまえばいろいろな調理ができるようになりますよ。」「高速無線LANも導入し、費用や調理のスキルに合わせて、いろいろな調理体験が提供できますので、興味があればぜひご相談ください。グランピング風の屋内テントのお部屋も好評ですよ!」とのことでした。

